

連合鳥取 社会連帯活動の取り組み ＜2020年度＞



平和行動の取り組み

世界の恒久平和の実現のため、平和運動の更なる強化をめざす観点から、連合本部4つの平和運動「沖縄」、「広島」、「長崎」、「根室」と「連合鳥取ピースウォーク」を実施する。

また、連合中国ブロックと連携し「竹島の領土権確立に関する取り組み」を中心とした活動を推進する。

6月～9月を「平和運動強化月間」として設定し、各構成組織との連携により平和行動を積極的に取り組むこととする。

◇連合本部4つの平和運動「沖縄」「広島」「長崎」「根室」

平和行動	日 程	内 容	参加要請 (前年実績)
沖 縄	6月23日(火) ～24日(水)	1日目：2020 平和サカサマ集会・平和交流会 2日目：ピース・フィールドワーク	5人程度 (7人)
広 島	8月5日(水) ～6日(木)	1日目：ピースウォーク・2020 平和ヒロシマ大会 2日目：～フリー行動	20人程度 (12人)
長 崎	8月8日(土) ～9日(日)	1日目：2020 平和ナガサキ大会 2日目：ピースウォーク	5人程度 (5人)
根 室	9月12日(土) ～13日(日)	1日目：学習会「北方四島の現状、島への思い(語り部)等」 2日目：2020 平和ノサップ集会	3人程度 (3人)

◇連合鳥取ピースウォーク

- 開催日 7月下旬から8月上旬を基本とし実施する。
- 場 所 東部、中部、西部 中央会場：中部
- 内 容
 - ・デモ行進 ⇒ 各地区とも実施する。
 - ・内容 ⇒ 各地協で企画する。



昨年の
ピースウォークの様子

◇竹島の領土権確立に関する取り組み

■連合中国ブロックと連携し取り組む。具体的には、島根県・竹島の日(2月22日)の集会に参画する。

◇連合連帯活動局と連携し推進する課題

- ① 核兵器廃絶
- ② 在日米軍基地の整理縮小
- ③ 日米地位協定の抜本的見直し
- ④ 安全保障関連法案
- ⑤ 北方領土返還要求運動
- ⑥ 平和問題での緊急行動 等

◇平和学習に関する現地学習会

- 実施日／調整中
- 場所／調整中

メーデー大会

メーデーの原点を再認識し、労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献していくことをめざす。

<基本方針>

これまでの基本的考え方を踏襲しつつ、すべての働く仲間が結集して力をあわせて取り組む。

- ① 「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続するとともに、働く側の視点による働き方改革を進め、長時間労働を是正し、誰もが公正な労働条件のもとで生き生きと働き、社会に参画できる「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざす。
- ② 働く仲間の結集するメーデーの持つ発信力を活かし、「クラシノソコアゲ応援団！RENGO キャンペーン」と連動して共感の輪を広げ、社会的うねりを呼び起こし、地域社会にアピールする運動を展開していく。
- ③ 労働福祉団体やNGO・NPOをはじめとする諸団体との連携を強化することはもとより、社会を支えるすべての人たちとの絆（つながり）を広め、労働運動に求められる社会運動の軸としての役割を発揮するための契機とする。
- ④ 東日本大震災をはじめとする被災地の復興支援、ならびに教訓を風化させない取り組みを展開する。

◇第91回鳥取県メーデー大会

■開催日 2020年4月29日（水・祝）

■中央メーデー会場 東部地区 ※中部地域、西部地域も同日開催

■企画・運営

・第91回メーデー鳥取県実行委員会、中央メーデー大会準備委員会を設置し企画運営する。

メーデーとは

**—8時間は労働、8時間は休息、
そして残り8時間は自分たちの自由な時間のために—**

労働者の祭典。

労働者が団結して権利を要求する日であり、世界的に毎年5月1日が「メーデー」とされている。

メーデーのきっかけとなったのは、1886年5月1日、アメリカの合衆国カナダ職能労働組合連盟（後のアメリカ労働総同盟）が8時間労働制を要求して行ったストライキ。当時の労働者は、低賃金で1日12時間以上働かされるなど、過酷な生活を強いられており、これを改善するために労働者自らが立ち上がった。

3年後にパリで開かれた第2インターナショナル創立大会では、8時間労働制実現のデモを行うことが決議され、さらに5月1日を労働運動の日を設定した。これ以降、メーデーは国際社会に広がることとなった。

日本で初めてメーデーが行われたのは、1920年、東京・上野公園。

集まったおよそ5000人とともに1万人ともいわれる労働者らが、8時間労働制や最低賃金法の制定などを訴えた。しかし、1936年の2.26事件からメーデーは禁止され、太平洋戦争が終わる45年までメーデーが開催されることはなかった。

だが、終戦と同時に復活。戦後初めての1946年メーデーでは、「働けるだけ喰（く）わせろ」がスローガンに掲げられ、盛大に開催された。以降、5月1日を中心に毎年開催されている。

昨年のメーデー大会の様子



環境問題への取り組み

◇連合エコライフ 21 <HP> <http://www.rengo.org/>

連合の方針に沿って「地球温暖化対策行動月間」を冬季・夏季に設定し、組合事務所、職場、家庭でできる取り組みを引き続き行う。また電力需給対策で求められる夏冬の節電行動と自らのライフスタイルの見直しを促す「ピークカットアクション21」を展開する。

なお、「連合エコライフ 21」の取り組みを、機関紙、ホームページを活用し広報・宣伝を行い地球環境問題に関する労働組合の取り組みを発信する。

- 冬季行動期間（12月～3月）の取り組み
 - ・ 室内温度 20℃設定、「ウォームビズ」運動
- 夏季行動期間（5月～10月）の取り組み
 - ・ 室内温度 28℃設定、ノーネクタイ・ノー上着を推進する「クールビズ」運動
 - ・ 「環境家計簿」等の取り組み



「室内温度 20℃および 28℃設定」とは、暖房・冷房の温度をそれぞれ 20℃、28℃に設定するという意味ではなく、オフィスの執務スペースに温度計を置いて計測した際に、OA 機器等から放出される熱等を考慮し 20℃、28℃を示すようにするという意味。

■通年の取り組み

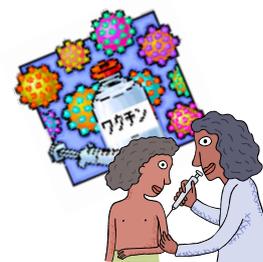
- ・「レジ袋削減＝マイバック利用」運動
- ・マイ箸運動の推進
- ・エコキャップ回収運動の推進

<今までの回収実績>

回収累計個数：2,432,722 個
ポリオワクチン換算：2,828.7 人分
(2020/01/07 現在)

【エコキャップ回収にあたってのお願い】

※**キャップの洗浄とシール剥がし**をお願いします。



◇エコドライブの実践

- ガソリン消費量の削減に向けた取り組みを推進する。
- 可能な範囲で自家用車利用を控え、公共交通機関の利用促進、自転車、「ノーマイカー通勤」を推進する。(努力目標：2回以上/月)
- 連合鳥取執行委員会の際は「公共交通利用して出席」を呼びかける。



◇連合の森づくり

■大山「ブナ林」復元運動

昨年度に引き続き「大山ブナを育成する会」を支援連携して活動を進めるとともに県連合としての支援体制を継続する。また、引き続き、「大山ブナを育成する会」地づくり作業に協力する。加えて、今後の活動のあり方について関係機関と協議を進める。

- 「自然環境保全」の取り組みは、「大山ブナ林」復元運動に取り組むこととする。
- 各地域協議会等においても、創意工夫して取り組む。

過去の例/鳥取砂丘ボランティア除草の取り組み・北条砂丘清掃活動の取り組み



国際交流の取り組み

◇中国・吉林省総工会との交流

中国吉林省総工会との相互友好交流協定
(2015年6月再締結、期間：5年間)に従い、
民間レベルの交流促進を図る観点から、中国吉林省総工会との
友好交流に取り組む。
今年度は招聘で対応する。



◇韓国労働委員会研究交流団との交流

鳥取県労働委員会を通じて韓国労働委員会研究交流団との交流に
取り組むこととする。



大規模災害対策の取り組み

◇自然災害発生時の対応

- (1) 災害が発生した場合には、マニュアル「連合鳥取防災・緊急対応の基本」に則って対応する。
- (2) 上記マニュアル内容の共有化（マニュアルの再確認）に取り組むとともに、学習会を開催する。
- (3) 大規模な災害時に4つの地方連合会（鳥取・島根・高知・徳島）が相互に助け合い、応援できるように協議を進め、4県における危機事象発生時相互応援協定（2017年9月20日締結）をこの度締結に至った。今後、鳥取県・島根県・高知県・徳島県のいずれかの県域において、危機事象が発生した県の地方連合に対し、応援を実施する。



人権課題の取り組み

◇人権活動の強化

連合本部「7つの絆」、人権を守るという観点から下記の通り取り組みを進める。

■部落解放共闘会議へ参画する中で、運動を積極的に推進する。

※狭山事件の公正な裁判―事実調べ・再審開始を求める署名活動に取り組む。

実施時期／2020年1月～3月 → 4月に東京高等裁判所、東京高等検察庁へ提出

①東京高等裁判所あて・・・個人署名

②東京高等検察庁あて・・・団体署名（産別・単組・支部）

■北朝鮮による日本人拉致問題

拉致問題を風化させないという観点から具体的な活動に取り組んでいく。

また、「拉致被害者の早期解放に向けての取り組み仮称『人権フォーラム』等、世論喚起や学習会などに取り組んでいくこととする。



社会貢献の取り組み

◇連合「愛のカンパ」

- 「愛のカンパ」に取り組む、連合本部、各産別との連携により内外のボランティア・NPO団体等への支援とともに、災害支援を進める。地域助成の公募については、3月に取り組む。

◇メーデー大会とリンクした取り組み

- （例）メーデー献血、清掃活動、観光・商業施設のにぎわい創出、フリーマーケット、チャリティー、フードドライブ 等

